

対馬釜山事務所だより

メリヨク、マンジヨム テマド!

(魅力、満点对馬)

対馬の交流人口拡大を図るために設立された「対馬ブランド化推進協議会」の主催で、2月末から3月はじめまで、2回にわたって、対馬への誘客及び対馬の受け入れ態勢などをテーマとした意見交換会が開かれました。

第1回は2月25日～27日2泊3日の日程で、釜山に所在するエージェン트関係者11名が対馬に招待されて、第2回は3月11日～13日2泊3日の日程で、ソウルのマスコミ関係者9名が対馬を訪れました。

釜山から参加したエージェンツの方々には観光専門家である分、2月26日に開かれた意見交換会で対馬の観光地としての現況、対馬観光業界への希望事項などを積極的に語り、そして対馬ブランド化推進協議会の委員との様々な意見も交わされ、あっという間に2時間が過ぎてしまいました。

今まで対馬は韓国南部にはよく知られていましたが(目の前に見えますから言うまでもないですね)、首都、ソウルをはじめ、韓国の中部地方にはあまり知られていませんでした。対馬(テマド)という存在は知っていましたが、釜山からなんと49.5kmという近い距離だという事実を知り、3月11日対馬を訪れたソウルのマスコミ関係者はすごく驚いた様子でした。また自然のあまりの美しさと森の茂みに、ふっと気が付いたら隣に「トトロ」が立っているような錯覚さえ覚えると言っていました。そしてソウルに帰ってから対馬の美しさをいっぱい宣伝して下さると約束しました。

3月12日に行なわれた対馬ブランド化推進協議会の委員との意見交換会でもそういう初印象を惜しみなく聞かせてくださいました。

2回にわたり、交わされた意見は大事な資料となってこれからの対馬の観光業に大きな役割を果たすでしょう。6日間、対馬の観光地を見ていただく日程もありましたが、その時、対馬を紹介して下さったガイドの皆さんのおかげで、より詳しく、また楽しく対馬を知っていただきましたし、恥ずかしい話ですが、随行通訳をした私どもも今まで知らなかった対馬についてよく分かるきっかけになりました。対馬の勉強不足を反省し、対馬についてより誇りを持つようになりました。これからはいろいろいっぱい教えてください。

一方、釜山では3月20日(日)にPSB環境マラソンが開きました。PSB環境マラソンは去年から対馬の国境マラソンと交流を始めたマラソン大会です。今年からは両大会の関係者およびハーフの優勝選手を招待することになってまして、去年の国境マラソンの優勝者の白石正義(大阪市)さんと向井和子(北九州市)さんが本番に出場されました。



日曜日の朝、春と言ってもまだ肌寒い日でしたが、7000名くらいの参加者はそれぞれのコースで頑張って走りました。

大会では、なんと白石さんが2位、向井さんは3位という優秀な成績をあげました。それで会場では改めて国境マラソンが紹介されました。そして、国境マラソンに参加したいと聞いてくる人もいました。

サア、今年の国境マラソンはより多く日韓の人が参加することを期待してみましよう。

対馬釜山事務所 金 京一、辛 恩京